



月刊 重力労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)
電話 | (鉄電) 千葉 2935・2936番
(公) 千葉 (22) 7207番

1989.2.23 No.2982

青年部はスト決起の先頭に



二月二一日十八時すぎ、千葉運輸区構内において青年部交流会が始まった。司会は鈴木常任委員(千葉転→人活→無人駅→安房勝山駅へと強制配転)だ。杉本青年部長が「三月ダイ改の焦点は千葉転被解雇者と清算事業団に仲間の闘いでも焦点であ

内にとどろく。
三月ダイ改悪阻止!二月ストライキで闘うぞ!」とシユブレヒコールが構

内にとどろく。
三月ダイ改悪阻止!二月ストライキで闘うぞ!」とシユブレヒコールが構

とあいさつした。続いて、各支部青年部長より決意表明をうけ、十九時千葉支社にむけデモに出発。天皇戒厳体制下でいらだつ機動隊を尻目に、スト決起をJR当局に宣言する。さらに団結を強め、スト本番へ!

(青年部発)

スト体制を強化しよう



鴨川事業団 Iさん
二年前の三月二十九日、トイレで用をたして、いた時、佐藤助役が入ってきた。すると、いきなり鴨川配転の事前通知を行ったのだ。

普段からおとなしい私も、さすがに頭に来た。「清算事業団行き」と思われる鴨川への配転を、トイレで通告した佐藤助役は國鉄当局に今でも怒りを禁じえない。

二波のストから三年、分割・民営化から二年、いままた動労千葉はストに決起しようとしている。しかし、JRの職場ではちょっとと攻撃されても「まあしようがない」という感じで、すぐ頭を下げてしまうような雰囲気がある。ぜひこうしたことに負けずに頑張って下さい。

家族ともっと話し合い、下からガンバれるようにしよう!

みんなの組合なんだから、みんなでつくつていこう!

清算事業団闘争に勝利するぞ!
原職奪還の
その日まで

採用通知がこなづた日から一年

佐倉事業団 Fさん

広域に応じるのは敵の術中にはまるようなもの。千葉に来た人も、皆売店などをやらされている。元の職をやるには、このまま闘いぬくしかない。原職奪還で自分の希望する職場に行きたい。

地労委闘争、裁判闘争など軸にして最後までガンバリぬく。

生活を守るためにも原職奪還にむく。運転士にはハンドルを、検査はハンマーを再度にぎりしめるまで闘いぬく。

Rは株の上場などできない危機にある。今月一回、鉄道病院跡で再就職の面接をやっている。われわれは「JRに採用しろ」ということでガンバっているが、当局はJRの採用はないと言つてくる。そこでいつもケンカとなる。あと一年ということで、当局は資格をとつた方がいいですよ、来年三月までの賃金と退職金は保証するので、他の企業に研修に行ってはどうか、などと言つてくる。だが保証するかわりに、辞職願をかけ、などという追い出しをやつてきている。

だが、われわれは原地原職奪還にむけてガンバっていく。

国鉄「分割・民営化」体制粉碎! 鉄道労連解体をかちとろう!